

3類型	鉾工業品	番号	8 - 26 - 007
地域資源名	桐箱・桐製品	認定日	平成26年10月15日
地域	福岡県古賀市	所管省庁	経済産業省

事業名：伝統技法に蓄積した加工技術を付加し、機能性とデザインを訴求した桐箱・桐製品の開発及び販路開拓

会社名：株式会社増田桐箱店

所在地：福岡県古賀市青柳町100-1

連絡先：TEL：092-942-3061

H P：http://www.kiribako.jp/

FAX：092-944-1221

事業概要(新たな活用の視点)

日本の伝統産業品である桐箱は、陶磁器や和服などの高級製品を保護・保管する容器として欠かせないものとなっているが、「脇役」の地位を抜け出すことができず、その伝統的な技法の上に当社が蓄積した加工技術と新たなデザインを付与することで、今までの桐箱業界にはなかった提案型・自立製品の製造販売を試みる。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)



競争力

キッチン回り商品において、桐材を使用すること自体が商品選択の誘因力と推測されるが、当社が持つ匠の技術やノウハウとデザイン形状に加え、桐材が持つ機能を最大限に引き出した新商品は、類似商品に対し用途が広く、コストパフォーマンスが高い。

市場性

桐箱・桐製品は、最近の「和のテイストブーム」・「天然素材への回帰」・「自然の持つ美しさ」などによりニーズ回復の兆しがあり、「和食」のユネスコ無形文化遺産登録や、6年後の東京オリンピックで、和のイメージを伝える桐製品ニーズは大いに期待できる。

販路

既存取引先である陶芸家や呉服商などとの関係を維持しながら、新事業の販路展開では、それら取引先からの紹介などでネットワークを広げることに注力する。

地域資源における関係事業者との連携

桐製品の製造は次世代に伝承すべき技術であり、当社は桐という文化を日本に残す責務があると考えており、社内技術指導体制確立に加え、行政とも連携して、工場見学実施や桐箱製作体験教室開催等を通じて、地域と文化の継承に貢献していきたい。